令和 5 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　徳島県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	三好病院	3
-	海部病院	4
徳島市	徳島市民病院	5
三好市	三野病院	6
勝浦町	国保勝浦病院	7
那賀町	那賀町立上那賀病院	8
美波町	国保美波病院	9
海陽町	海南病院	10
つるぎ町	つるぎ町立半田病院	11

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県

市町村・組合名	
病院名	中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	48,708 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が感へ災地
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	390	74.7	70.6	69.4
療養	-	-	-	-
結核	5	50.5	66.2	50.3
精神	60	43.9	30.3	32.2
感染症	5	39.9	49.4	38.7
計	460	70.1	65.0	64.0
平均在院日数（一般病床のみ）		9.4	9.7	10.1

設立団体の状況

人口（人）		719,559
決算規模（千円）		500,502,981
標準財政規模（千円）		256,922,987
財政力指数		0.31489
経常収支比率（%）		89.7
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.3
	将来負担比率（%）	152.2

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,963,591			
１ 経常収益	17,802,157			
（１）医業収益	15,287,146			
（うち修正医業収益）	14,549,160			
① 入院収益	10,324,142			
② 外来収益	3,917,417			
診療収入計	14,241,559			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	1,045,587			
（うち他会計負担金）	737,986			
（２）医業外収益	2,515,011			
（うち国・都道府県補助金）	160,357			
（うち他会計補助・負担金）	1,493,354			
（うち長期前受金戻入）	754,388			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	161,434			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	19,500,744			
２ 経常費用	19,500,744			
（１）医業費用	17,703,935			
① 職員給与費	8,932,285	58.4	58.7	55.7
② 材料費	4,335,154	28.4	26.9	28.9
（うち薬品費）	2,849,181	18.6	14.8	15.8
（うち薬品費以外の医薬材料費）	1,485,469	9.7	11.7	12.7
③ 減価償却費	1,418,690	9.3	8.5	7.9
④ 経費	2,924,985	19.1	21.5	18.1
（うち委託料）	1,758,280	11.5	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	68,491			
⑥ 資産減耗費	24,330			
（２）医業外費用	1,796,809			
（うち支払利息）	299,022	2.0	0.9	0.9
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-1,698,587			
損益 純損益	-1,537,153			
累積欠損金	-			
経常収支比率	91.3		96.5	97.5
医業収支比率	86.3		86.0	90.0
修正医業収支比率	82.2		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	12.4		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	79.8		85.4	88.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	41,972,719
１ 固定資産	32,073,288
（１）有形固定資産	30,733,090
（２）無形固定資産	7,384
（３）投資その他の資産	1,332,814
２ 流動資産	9,899,431
（１）現金及び預金	5,440,054
（２）未収金及び未収収益	4,270,845
（３）貸倒引当金（△）	144,870
（４）貯蔵品	301,608
３ 繰延資産	-
負債合計	41,552,247
１ 固定負債	32,740,971
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,718,591
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	110,000
（４）その他の長期借入金	115,000
（５）引当金	4,797,380
（６）リース債務	-
２ 流動負債	4,900,581
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,644,083
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
（４）その他の長期借入金	70,000
（５）引当金	743,344
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	2,140,607
（９）前受金及び前受収益	13,367
３ 繰延収益	3,910,695
（１）長期前受金	17,121,188
（２）長期前受金収益化累計額（△）	13,210,493
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	420,472
１ 資本金	7,418,333
２ 剰余金	-6,997,861
（１）資本剰余金	671,283
（２）利益剰余金	-7,669,144
負債・資本合計	41,972,719
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,161,736	2,231,340
資本勘定繰入	713,811	713,811
計	2,875,547	2,945,151

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	34.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県

市町村・組合名	
病院名	三好病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	21,511 ㎡	不採算地区中核病院	第１種該当
診療科数	19	指定病院の状況	救臨　感へ災地
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	206	66.0	56.8	55.2
療養	-	-	-	-
結核	8	2.3	-	42.4
精神	-	-	-	-
感染症	6	50.4	99.1	36.6
計	220	63.2	55.9	54.2
平均在院日数（一般病床のみ）		15.5	15.4	12.7

設立団体の状況		
人口（人）		719,559
決算規模（千円）		500,502,981
標準財政規模（千円）		256,922,987
財政力指数		0.31489
経常収支比率（%）		89.7
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.3
	将来負担比率（%）	152.2

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,772,951			
１ 経常収益	5,714,204			
（１）医業収益	4,774,170			
（うち修正医業収益）	4,407,135			
① 入院収益	3,274,598			
② 外来収益	1,051,213			
診療収入計	4,325,811			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	448,359			
（うち他会計負担金）	367,035			
（２）医業外収益	940,034			
（うち国・都道府県補助金）	18,386			
（うち他会計補助・負担金）	604,773			
（うち長期前受金戻入）	274,997			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	58,747			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	6,401,046			
２ 経常費用	6,401,046			
（１）医業費用	5,923,555			
① 職員給与費	3,108,035	65.1	58.7	63.9
② 材料費	1,097,575	23.0	26.9	21.1
（うち薬品費）	488,765	10.2	14.8	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	608,217	12.7	11.7	10.2
③ 減価償却費	455,481	9.5	8.5	9.3
④ 経費	1,240,259	26.0	21.5	28.2
（うち委託料）	691,505	14.5	11.5	14.0
⑤ 研究研修費	17,495			
⑥ 資産減耗費	4,710			
（２）医業外費用	477,491			
（うち支払利息）	35,779	0.7	0.9	1.0
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-686,842			
損益 純損益	-628,095			
累積欠損金	5,340,026			
経常収支比率	89.3		96.5	93.2
医業収支比率	80.6		86.0	81.2
修正医業収支比率	74.4		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	20.4		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	16.8		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	74.1		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	41,972,719
１ 固定資産	32,073,288
（１）有形固定資産	30,733,090
（２）無形固定資産	7,384
（３）投資その他の資産	1,332,814
２ 流動資産	9,899,431
（１）現金及び預金	5,440,054
（２）未収金及び未収収益	4,270,845
（３）貸倒引当金（△）	144,870
（４）貯蔵品	301,608
３ 繰延資産	-
負債合計	41,552,247
１ 固定負債	32,740,971
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,718,591
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	110,000
（４）その他の長期借入金	115,000
（５）引当金	4,797,380
（６）リース債務	-
２ 流動負債	4,900,581
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,644,083
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
（４）その他の長期借入金	70,000
（５）引当金	743,344
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	2,140,607
（９）前受金及び前受収益	13,367
３ 繰延収益	3,910,695
（１）長期前受金	17,121,188
（２）長期前受金収益化累計額（△）	13,210,493
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	420,472
１ 資本金	7,418,333
２ 剰余金	-6,997,861
（１）資本剰余金	671,283
（２）利益剰余金	-7,669,144
負債・資本合計	41,972,719
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	957,405	971,808
資本勘定繰入	169,990	169,990
計	1,127,395	1,141,798

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	34.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県

市町村・組合名	
病院名	海部病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	23,052 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救 臨 感 へ 災 輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	102	62.6	47.2	45.6
療養	-	-	-	-
結核	4	1.8	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	26.8	120.8	88.2
計	110	59.1	48.2	45.5
平均在院日数（一般病床のみ）		15.9	11.2	10.2

設立団体の状況		
人口 (人)		719,559
決算規模 (千円)		500,502,981
標準財政規模 (千円)		256,922,987
財政力指数		0.31489
経常収支比率 (%)		89.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.3
	将来負担比率 (%)	152.2

損益計算書				(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,726,506			
１ 経常収益	2,620,347			
（1）医業収益	2,065,600			
（うち修正医業収益）	1,872,846			
① 入院収益	1,155,076			
② 外来収益	670,559			
診療収入計	1,825,635			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	239,965			
（うち他会計負担金）	192,754			
（2）医業外収益	554,747			
（うち国・都道府県補助金）	8,740			
（うち他会計補助・負担金）	323,829			
（うち長期前受金戻入）	205,267			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	106,159			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	3,063,090			
２ 経常費用	3,063,090			
（1）医業費用	2,847,018			
① 職員給与費	1,373,556	66.5	58.7	67.7
② 材料費	483,365	23.4	26.9	18.3
（うち薬品費）	337,987	16.4	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	145,147	7.0	11.7	9.1
③ 減価償却費	363,622	17.6	8.5	10.3
④ 経費	615,617	29.8	21.5	29.4
（うち委託料）	284,958	13.8	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	9,952			
⑥ 資産減耗費	906			
（2）医業外費用	216,072			
（うち支払利息）	27,121	1.3	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-442,743			
損益 純損益	-336,584			
累積欠損金	2,827,486			
経常収支比率	85.5		96.5	95.4
医業収支比率	72.6		86.0	79.1
修正医業収支比率	65.8		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	19.7		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	25.0		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	18.9		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	68.7		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表	(千円)
区分	決算額
資産合計	41,972,719
１ 固定資産	32,073,288
（1）有形固定資産	30,733,090
（2）無形固定資産	7,384
（3）投資その他の資産	1,332,814
２ 流動資産	9,899,431
（1）現金及び預金	5,440,054
（2）未収金及び未収収益	4,270,845
（3）貸倒引当金（△）	144,870
（4）貯蔵品	301,608
３ 繰延資産	-
負債合計	41,552,247
１ 固定負債	32,740,971
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,718,591
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	110,000
（4）その他の長期借入金	115,000
（5）引当金	4,797,380
（6）リース債務	-
２ 流動負債	4,900,581
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,644,083
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
（4）その他の長期借入金	70,000
（5）引当金	743,344
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	2,140,607
（9）前受金及び前受収益	13,367
３ 繰延収益	3,910,695
（1）長期前受金	17,121,188
（2）長期前受金収益化累計額（△）	13,210,493
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	420,472
１ 資本金	7,418,333
２ 剰余金	-6,997,861
（1）資本剰余金	671,283
（2）利益剰余金	-7,669,144
負債・資本合計	41,972,719
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	502,778	516,583
資本勘定繰入	162,254	162,254
計	665,032	678,837

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	34.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	徳島市
病院名	徳島市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,240 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	38	指定病院の状況	救臨が　災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	335	71.9	69.8	69.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	335	71.9	69.8	69.4
平均在院日数（一般病床のみ）		10.0	10.5	10.0

設立団体の状況		
人口 (人)		252,391
決算規模 (千円)		112,267,938
標準財政規模 (千円)		57,666,114
財政力指数		0.77
経常収支比率 (%)		96.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	5.7
	将来負担比率 (%)	31.9

損益計算書				(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,800,389			
１ 経常収益	11,792,634			
（1）医業収益	9,919,856			
（うち修正医業収益）	9,470,843			
① 入院収益	6,825,323			
② 外来収益	2,452,411			
診療収入計	9,277,734			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	642,122			
（うち他会計負担金）	449,013			
（2）医業外収益	1,872,778			
（うち国・都道府県補助金）	456,441			
（うち他会計補助・負担金）	647,906			
（うち長期前受金戻入）	668,564			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	7,755			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	11,586,168			
２ 経常費用	11,461,845			
（1）医業費用	10,788,040			
① 職員給与費	5,369,242	54.1	58.7	59.2
② 材料費	2,691,579	27.1	26.9	26.1
（うち薬品費）	1,409,614	14.2	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	1,279,920	12.9	11.7	11.1
③ 減価償却費	936,814	9.4	8.5	8.5
④ 経費	1,730,756	17.4	21.5	21.3
（うち委託料）	963,162	9.7	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	25,806			
⑥ 資産減耗費	33,843			
（2）医業外費用	673,805			
（うち支払利息）	202,152	2.0	0.9	1.0
（3）特別損失	124,323			
損益 経常損益	330,789			
損益 純損益	214,221			
累積欠損金	6,528,259			
経常収支比率	102.9		96.5	95.9
医業収支比率	92.0		86.0	86.4
修正医業収支比率	87.8		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	93.3		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表	(千円)
区分	決算額
資産合計	14,527,286
１ 固定資産	9,087,116
（1）有形固定資産	9,087,116
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	5,440,170
（1）現金及び預金	3,845,552
（2）未収金及び未収収益	1,585,790
（3）貸倒引当金（△）	25,947
（4）貯蔵品	33,377
３ 繰延資産	-
負債合計	15,222,671
１ 固定負債	12,174,594
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,773,893
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	2,400,701
（6）リース債務	-
２ 流動負債	2,745,929
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	917,814
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	382,086
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	1,410,448
（9）前受金及び前受収益	199
３ 繰延収益	302,148
（1）長期前受金	6,533,821
（2）長期前受金収益化累計額（△）	6,231,673
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	-695,385
１ 資本金	2,681,502
２ 剰余金	-3,376,887
（1）資本剰余金	3,151,372
（2）利益剰余金	-6,528,259
負債・資本合計	14,527,286
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	695,385
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	393,237
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,106,120	1,096,919
資本勘定繰入	622,700	622,700
計	1,728,820	1,719,619

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	65.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県

市町村・組合名	三好市
病院名	三野病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ドＩ訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	5,537 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１５：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	60	65.5	63.3	70.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	65.5	63.3	70.6
平均在院日数（一般病床のみ）		37.3	40.4	40.5

設立団体の状況		
人口 (人)		23,605
決算規模 (千円)		24,650,581
標準財政規模 (千円)		13,270,109
財政力指数		0.23
経常収支比率 (%)		93.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.7
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)					
区分		決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益		1,016,374			
１ 経常収益		1,008,390			
（1）医業収益		778,143			
（うち修正医業収益）		754,302			
① 入院収益		427,723			
② 外来収益		275,725			
診療収入計		703,448			
③ 繰延運営権対価収益		-			
④ 運営権者更新投資収益		-			
⑤ その他医業収益		74,695			
（うち他会計負担金）		23,841			
（2）医業外収益		230,247			
（うち国・都道府県補助金）		8,627			
（うち他会計補助・負担金）		159,809			
（うち長期前受金戻入）		53,929			
（うち資本費繰入収益）		-			
（3）特別利益		7,984			
（うち他会計繰入金）		-			
総費用		985,156			
２ 経常費用		984,713			
（1）医業費用		936,188			
① 職員給与費		463,512	59.6	58.7	78.7
② 材料費		136,997	17.6	26.9	14.5
（うち薬品費）		105,741	13.6	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）		29,936	3.8	11.7	6.1
③ 減価償却費		66,172	8.5	8.5	11.8
④ 経費		268,564	34.5	21.5	32.3
（うち委託料）		105,271	13.5	11.5	15.3
⑤ 研究研修費		281			
⑥ 資産減耗費		662			
（2）医業外費用		48,525			
（うち支払利息）		12,734	1.6	0.9	1.1
（3）特別損失		443			
損益	経常損益	23,677			
	純損益	31,218			
累積欠損金		97,691			
経常収支比率		102.4		96.5	96.4
医業収支比率		83.1		86.0	72.4
修正医業収支比率		80.6		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率		18.2		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率		23.6		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率		18.1		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率		83.8		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	1,056,579
１ 固定資産	760,046
（1）有形固定資産	735,317
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	24,729
２ 流動資産	296,533
（1）現金及び預金	211,294
（2）未収金及び未収収益	78,802
（3）貸倒引当金（△）	1,119
（4）貯蔵品	7,556
３ 繰延資産	-
負債合計	1,062,254
１ 固定負債	713,427
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	713,427
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
２ 流動負債	158,801
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	81,180
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	38,674
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	38,914
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	190,026
（1）長期前受金	944,024
（2）長期前受金収益化累計額（△）	753,998
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	-5,675
１ 資本金	91,816
２ 剰余金	-97,491
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-97,491
負債・資本合計	1,056,579
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	5,675
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	149,597	183,650
資本勘定繰入	37,894	42,538
計	187,491	226,188

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	12.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	勝浦町
病院名	国保勝浦病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,140 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	１５：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	50	62.9	61.3	56.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	62.9	61.3	56.2
平均在院日数（一般病床のみ）		27.9	31.6	33.7

設立団体の状況		
人口（人）		4,837
決算規模（千円）		3,991,279
標準財政規模（千円）		2,535,942
財政力指数		0.23
経常収支比率（%）		86.8
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.2
	将来負担比率（%）	-

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	696,525			
１ 経常収益	696,525			
（1）医業収益	582,138			
（うち修正医業収益）	544,782			
① 入院収益	328,681			
② 外来収益	127,770			
診療収入計	456,451			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	125,687			
（うち他会計負担金）	37,356			
（2）医業外収益	114,387			
（うち国・都道府県補助金）	5,517			
（うち他会計補助・負担金）	87,618			
（うち長期前受金戻入）	19,428			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	752,689			
２ 経常費用	751,571			
（1）医業費用	712,180			
① 職員給与費	441,976	75.9	58.7	78.7
② 材料費	57,221	9.8	26.9	14.5
（うち薬品費）	41,065	7.1	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	16,034	2.8	11.7	6.1
③ 減価償却費	10,440	1.8	8.5	11.8
④ 経費	182,835	31.4	21.5	32.3
（うち委託料）	113,156	19.4	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	365			
⑥ 資産減耗費	19,343			
（2）医業外費用	39,391			
（うち支払利息）	706	0.1	0.9	1.1
（3）特別損失	1,118			
損益 経常損益	-55,046			
損益 純損益	-56,164			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.7		96.5	96.4
医業収支比率	81.7		86.0	72.4
修正医業収支比率	76.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.9		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	17.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	76.0		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	3,531,765
１ 固定資産	2,523,399
（1）有形固定資産	2,523,167
（2）無形固定資産	232
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	1,008,366
（1）現金及び預金	735,912
（2）未収金及び未収収益	266,997
（3）貸倒引当金（△）	480
（4）貯蔵品	5,936
３ 繰延資産	-
負債合計	2,198,077
１ 固定負債	1,826,311
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,629,917
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	196,394
（6）リース債務	-
２ 流動負債	98,133
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,151
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	31,279
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	51,703
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	273,633
（1）長期前受金	352,889
（2）長期前受金収益化累計額（△）	79,256
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,333,688
１ 資本金	1,270,999
２ 剰余金	62,689
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	62,689
負債・資本合計	3,531,765
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	124,750	124,974
資本勘定繰入	62,948	65,681
計	187,698	190,655

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	那賀町
病院名	那賀町立上那賀病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	Ｉ　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	3,432 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	へ
許可公営企業		看護配置	１５：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	30	68.9	76.6	52.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	68.9	76.6	52.7
平均在院日数（一般病床のみ）		33.3	32.1	17.9

設立団体の状況		
人口 (人)		7,367
決算規模 (千円)		11,589,917
標準財政規模 (千円)		6,269,348
財政力指数		0.20
経常収支比率 (%)		89.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.6
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	504,460			
１ 経常収益	504,460			
（１）医業収益	284,884			
（うち修正医業収益）	281,884			
① 入院収益	154,370			
② 外来収益	99,065			
診療収入計	253,435			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	31,449			
（うち他会計負担金）	3,000			
（２）医業外収益	219,576			
（うち国・都道府県補助金）	1,760			
（うち他会計補助・負担金）	196,106			
（うち長期前受金戻入）	3,879			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	563,554			
２ 経常費用	563,554			
（１）医業費用	554,883			
① 職員給与費	389,181	136.6	58.7	89.5
② 材料費	40,158	14.1	26.9	13.4
（うち薬品費）	15,236	5.3	14.8	7.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	24,922	8.7	11.7	5.5
③ 減価償却費	36,681	12.9	8.5	14.0
④ 経費	86,935	30.5	21.5	46.3
（うち委託料）	48,993	17.2	11.5	22.2
⑤ 研究研修費	740			
⑥ 資産減耗費	1,188			
（２）医業外費用	8,671			
（うち支払利息）	3,671	1.3	0.9	1.0
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-59,094			
損益 純損益	-59,094			
累積欠損金	1,255,902			
経常収支比率	89.5		96.5	97.3
医業収支比率	51.3		86.0	60.9
修正医業収支比率	50.8		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.5		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	69.9		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	39.5		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	54.2		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	641,399
１ 固定資産	266,999
（１）有形固定資産	266,999
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	374,400
（１）現金及び預金	162,810
（２）未収金及び未収収益	185,444
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	1,227
３ 繰延資産	-
負債合計	201,058
１ 固定負債	51,056
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,056
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	-
（６）リース債務	-
２ 流動負債	112,489
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,964
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	28,298
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	31,227
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	37,513
（１）長期前受金	182,203
（２）長期前受金収益化累計額（△）	144,690
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	440,341
１ 資本金	1,696,243
２ 剰余金	-1,255,902
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-1,255,902
負債・資本合計	641,399
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	75,130	199,106
資本勘定繰入	40,863	64,594
計	115,993	263,700

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	440.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県

市町村・組合名	美波町
病院名	国保美波病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,531 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	50	47.2	49.0	45.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	47.2	49.0	45.7
平均在院日数（一般病床のみ）		14.9	14.9	19.0

設立団体の状況

人口（人）		6,222
決算規模（千円）		6,557,299
標準財政規模（千円）		3,812,960
財政力指数		0.16
経常収支比率（%）		98.8
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.0
	将来負担比率（%）	29.6

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	783,309			
１ 経常収益	777,695			
（1）医業収益	495,984			
（うち修正医業収益）	457,993			
① 入院収益	262,254			
② 外来収益	182,776			
診療収入計	445,030			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	50,954			
（うち他会計負担金）	37,991			
（2）医業外収益	281,711			
（うち国・都道府県補助金）	13,357			
（うち他会計補助・負担金）	231,602			
（うち長期前受金戻入）	23,063			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	5,614			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	817,308			
２ 経常費用	817,308			
（1）医業費用	789,845			
① 職員給与費	465,463	93.8	58.7	78.7
② 材料費	105,598	21.3	26.9	14.5
（うち薬品費）	74,576	15.0	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	25,177	5.1	11.7	6.1
③ 減価償却費	89,551	18.1	8.5	11.8
④ 経費	112,780	22.7	21.5	32.3
（うち委託料）	74,469	15.0	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	426			
⑥ 資産減耗費	16,027			
（2）医業外費用	27,463			
（うち支払利息）	4,375	0.9	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-39,613			
損益 純損益	-33,999			
累積欠損金	460,973			
経常収支比率	95.2		96.5	96.4
医業収支比率	62.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	58.0		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	34.7		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	54.4		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	34.4		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	62.2		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	2,346,042
１ 固定資産	1,997,324
（1）有形固定資産	1,997,324
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	348,718
（1）現金及び預金	243,831
（2）未収金及び未収収益	97,385
（3）貸倒引当金（△）	445
（4）貯蔵品	7,947
３ 繰延資産	-
負債合計	1,650,949
１ 固定負債	741,989
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	741,989
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
２ 流動負債	164,842
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	96,674
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	33,366
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	34,802
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	744,118
（1）長期前受金	935,159
（2）長期前受金収益化累計額（△）	191,041
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	695,093
１ 資本金	1,146,392
２ 剰余金	-451,299
（1）資本剰余金	9,674
（2）利益剰余金	-460,973
負債・資本合計	2,346,042
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	149,593	269,593
資本勘定繰入	43,335	43,335
計	192,928	312,928

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	92.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	海陽町
病院名	海南病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,366 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救　災　輪
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	45	39.2	42.2	44.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	39.2	42.2	44.9
平均在院日数（一般病床のみ）		16.0	20.0	20.2

設立団体の状況		
人口（人）		8,358
決算規模（千円）		7,980,275
標準財政規模（千円）		4,889,092
財政力指数		0.19
経常収支比率（%）		87.9
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	1.2
	将来負担比率（%）	-

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	509,463			
１ 経常収益	507,151			
（1）医業収益	298,373			
（うち修正医業収益）	298,373			
① 入院収益	184,742			
② 外来収益	90,306			
診療収入計	275,048			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	23,325			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	208,778			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	182,282			
（うち長期前受金戻入）	15,637			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	2,312			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	587,981			
２ 経常費用	587,981			
（1）医業費用	571,227			
① 職員給与費	355,712	119.2	58.7	89.5
② 材料費	26,996	9.0	26.9	13.4
（うち薬品費）	13,409	4.5	14.8	7.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	8,657	2.9	11.7	5.5
③ 減価償却費	58,888	19.7	8.5	14.0
④ 経費	124,321	41.7	21.5	46.3
（うち委託料）	56,943	19.1	11.5	22.2
⑤ 研究研修費	1,319			
⑥ 資産減耗費	3,991			
（2）医業外費用	16,754			
（うち支払利息）	3,847	1.3	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-80,830			
損益 純損益	-78,518			
累積欠損金	772,069			
経常収支比率	86.3		96.5	97.3
医業収支比率	52.2		86.0	60.9
修正医業収支比率	52.2		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.9		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	61.1		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	35.8		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	55.3		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	1,073,886
１ 固定資産	1,009,507
（1）有形固定資産	1,008,449
（2）無形固定資産	1,058
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	64,379
（1）現金及び預金	11,723
（2）未収金及び未収収益	51,510
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	1,146
３ 繰延資産	-
負債合計	631,419
１ 固定負債	353,320
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	353,320
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
２ 流動負債	69,617
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	39,371
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	23,014
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,232
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	208,482
（1）長期前受金	336,566
（2）長期前受金収益化累計額（△）	128,084
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	442,467
１ 資本金	1,182,827
２ 剰余金	-740,360
（1）資本剰余金	31,709
（2）利益剰余金	-772,069
負債・資本合計	1,073,886
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,668	182,282
資本勘定繰入	23,908	42,718
計	204,576	225,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	258.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	徳島県

市町村・組合名	つるぎ町
病院名	つるぎ町立半田病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	12,311 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ災輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	120	49.7	52.5	53.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	49.7	52.5	53.0
平均在院日数（一般病床のみ）		13.8	13.5	14.2

設立団体の状況		
人口（人）		7,715
決算規模（千円）		7,778,846
標準財政規模（千円）		5,100,767
財政力指数		0.18
経常収支比率（%）		97.3
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.1
	将来負担比率（%）	-

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,358,887			
１ 経常収益	2,357,365			
（1）医業収益	1,998,374			
（うち修正医業収益）	1,864,776			
① 入院収益	929,059			
② 外来収益	839,939			
診療収入計	1,768,998			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	229,376			
（うち他会計負担金）	133,598			
（2）医業外収益	358,991			
（うち国・都道府県補助金）	116,940			
（うち他会計補助・負担金）	116,402			
（うち長期前受金戻入）	100,944			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	1,522			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,549,102			
２ 経常費用	2,547,638			
（1）医業費用	2,447,678			
① 職員給与費	1,439,804	72.0	58.7	67.7
② 材料費	289,467	14.5	26.9	18.3
（うち薬品費）	141,537	7.1	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	138,011	6.9	11.7	9.1
③ 減価償却費	209,214	10.5	8.5	10.3
④ 経費	501,857	25.1	21.5	29.4
（うち委託料）	175,969	8.8	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	4,037			
⑥ 資産減耗費	3,299			
（2）医業外費用	99,960			
（うち支払利息）	20,447	1.0	0.9	1.1
（3）特別損失	1,464			
損益 経常損益	-190,273			
損益 純損益	-190,215			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.5		96.5	95.4
医業収支比率	81.6		86.0	79.1
修正医業収支比率	76.2		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	10.6		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	82.7		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	5,087,093
１ 固定資産	3,938,516
（1）有形固定資産	3,914,315
（2）無形固定資産	122
（3）投資その他の資産	24,079
２ 流動資産	1,148,577
（1）現金及び預金	702,216
（2）未収金及び未収収益	418,580
（3）貸倒引当金（△）	824
（4）貯蔵品	28,605
３ 繰延資産	-
負債合計	1,991,290
１ 固定負債	873,246
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	841,923
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	31,323
２ 流動負債	434,222
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	205,821
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	101,827
（6）リース債務	3,395
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	123,179
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	683,822
（1）長期前受金	2,339,406
（2）長期前受金収益化累計額（△）	1,655,584
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	3,095,803
１ 資本金	1,472,491
２ 剰余金	1,623,312
（1）資本剰余金	1,871
（2）利益剰余金	1,621,441
負債・資本合計	5,087,093
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	288,295	250,000
資本勘定繰入	191,561	10,000
計	479,856	260,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。